

小金井リハビリテーション連絡会 地域症例検討会

一般社団法人 巨樹の会
小金井リハビリテーション病院
理学療法士：大瀧 貴裕

はじめに

本症例は左視床出血を発症し、右片麻痺を呈した患者である。病前生活は週に2回剣道の先生を行っており、その他でもジムに通い身体を鍛える等活発的に運動されていた。

歩行獲得に向けて、装具の検討に難渋している為、皆様にアドバイスを頂けたら幸いです。

症例紹介

年齢：70歳代後半 性別：男性

疾患名：左視床出血

既往歴：無し

介護保険：要介護3（発症後取得）

職歴：電気設備関係の仕事（定年まで）、剣道の先生（現在）

趣味：剣道、畑仕事、ジムで身体鍛える事、ハーモニカ

HOPE：自宅退院。一人で歩いて身の回りの事を他人の手を借りずに行いたい。口頭指導が良いので剣道の指導をしたい。

入院前の生活状況

- ・仕事は退職され、週に2回剣道の指導を行っていた。移動手段はバスの利用。（バス停まで徒歩10分）
- ・その他はジムで身体を鍛えることや自宅の畑仕事等活発に活動されていた。

目標（私の願い）

- ・屋内独歩、歩行補助具を使用して
屋外歩行自立！！
- ・公共交通機関を利用し歩いて道場まで行き
剣道の指導を行えるようになって頂きたい！

評価①

全体像	リハビリに対し積極的であり理解良好 リハビリ開始10分前から待機しており 部屋では自主トレーニングに励んでいる
Brs	上肢Ⅳ 手指Ⅳ 下肢Ⅳ
感覚	表在・深部共に軽度鈍麻
FBS	43 / 56点
FIM	114点（運動／認知：79／35） 減点項目：移乗・入浴動作に手すり使用、歩行軽介助 階段見守り

評価②

起居動作	自立
立位保持	自立
移乗動作	自立
ADL	更衣：自立 排泄：自立 入浴：手すり把持にて跨ぎ動作自立 階段：手すり把持にて横歩きで2足1段見守り

立位姿勢



頸部：前方突出
 肩甲骨：右下制
 胸椎：屈曲位
 腰椎：過伸展位
 骨盤：右後方回旋
 膝関節：軽度屈曲位
 右外旋位
 左内旋位
 足部：左回内位
 重心：左偏位

評価（歩行）

独歩：装具を使用せずに接触介助～軽介助

全体像：大きなふらつきなく前方を見て歩行可能

- ・ 右下肢を振り出す際に引っ掛かりがみられることあり。
- ・ 右下肢のぶん回し歩行あり。
- ・ 踵から右足が床に着かず、足底全面接地で行われている。
- ・ 右膝折れはみられないが、支持性は不十分。
- ・ 歩行距離拡大につれ右足部の内反、クロートウが強まる

検討事項

- ・ 装具・歩行補助具の選定に難渋した。
歩行の自立に向けての評価や
装具の選定をどのようにしているのか？
- ・ 装具を作成しての体験談の
（成功例・失敗例）の共有